



# 広浦 あんばまつり

## 瀬沼の伝承

下石崎地区の大杉神社の祭礼で、町指定無形文化財である「あんばまつり」が7月29日(土)に行われました。

瀬沼に浮かぶ山車に明かりが灯されると、辺りは幻想的な雰囲気。山車の上では、キツネやひよっこ、おかめ（おかしめ）の面をかぶった踊り手が囃子の音に合わせて踊り、祭りを盛り上げました。

この大杉神社（通称・あんばさま）の祭りは、江戸時代に広浦地区で天然痘（とうしゅ）が流行したことから、疫病退散の神である稲敷市の大杉神社の分霊を祀まつったことが始まりとされ、約180年続いています。

今年も古からの思いと伝統を繋ぎ、町内の無病息災と五穀豊穡を祈願しました。